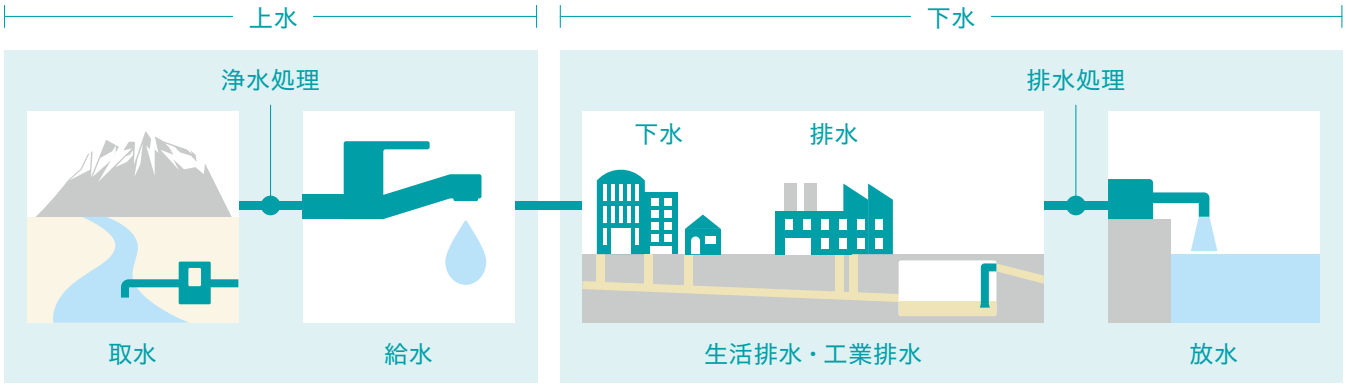
水・環境部門

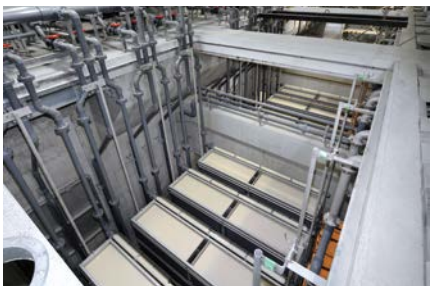
パイプシステム・水処理施設

新型コロナの感染症拡大を受けて、改めて“水”の重要性が増しています。クボタグループは、上水から下水までカバーできる世界トップクラスの水・環境衛生関連総合メーカーとして人々の暮らしを豊かにしてまいります。



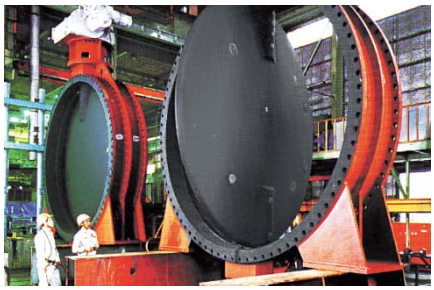
ダクタイル鉄管
上下水道や農業用水などのインフラに使用されます。

プラスチックパイプ
上下水道やガス管などのインフラに使用されます。



液中膜ユニット
下水や産業排水を浄化します。

ポンプ
上下水道や農林、雨水市場などで水に圧力を与えるために使用されます。



バルブ
上下水道や農業用水などの水や気体を制御するために使用されます。

浄化槽
下水道が整備されていない地域の排水処理を行います。

ごみ焼却・溶融、破砕・リサイクル

地球環境の保全に寄与しながら、循環型社会の構築に貢献してまいります。

ごみ焼却プラント／灰・溶融プラント
家庭からの燃えるごみを焼却処理して減容化を図るだけでなく、高温の廃熱を利用して発電を行い低炭素化社会にも貢献する施設です。

破砕・リサイクルプラント
資源ごみを破砕・選別し、資源価値を高めたり、再利用・原材料化や燃料化する施設です。

クボタグループにおける

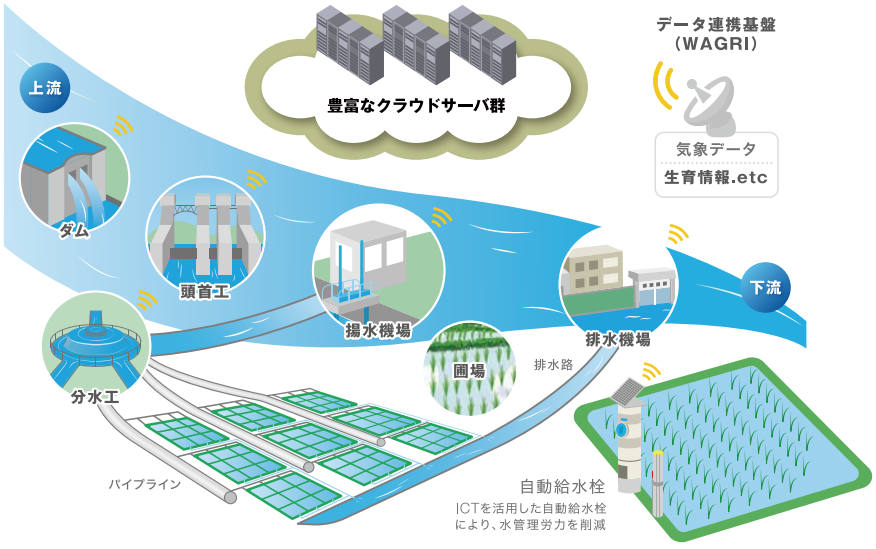
ICT×IoT
―水環境事業―

クボタがめざすIoTで見守る水環境インフラ

水環境分野においてIoTを活用した新サービス「クボタスマートインフラストラクチャシステム(KSIS)」を開発。現在、NTTグループとの連携協定により、AIによる設備診断などの研究開発を行っており、順次サービスに展開する予定です。

製品・プラント機器単体から、システム・アフターサービスまで含めたトータルソリューションサービスの提供を通じて、国内外のお客様の課題解決に貢献します。

KSIS
KUBOTA Smart Infrastructure System



ほ場水管理システム ワタラス(WATARAS)

スマートフォンやパソコンで水田の水位などをモニタリングしながら、遠隔操作や自動制御で水田への給水・排水ができる(国研)農研機構が開発したほ場水管理システムです。

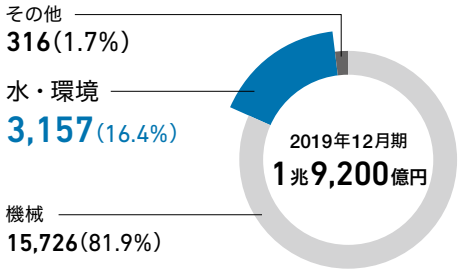
事業概況(水・環境部門)

2019年度の実績

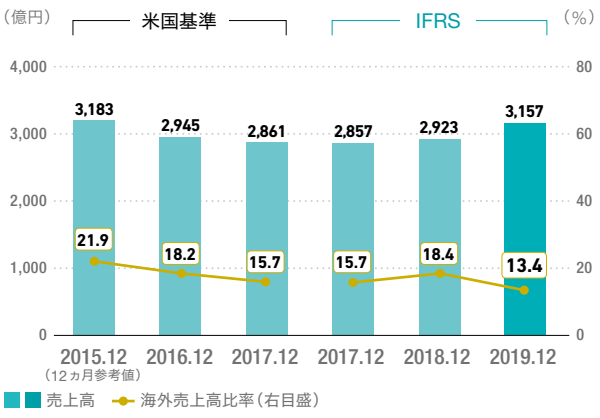
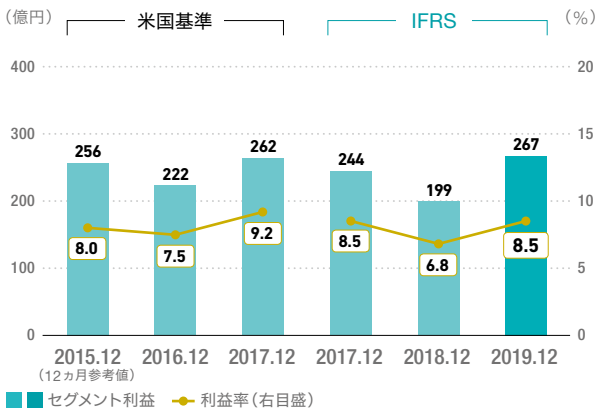
水・環境部門の売上高は前期比8.0%増加して3,157億円となり、売上高全体の16.4%を占めました。国内売上高は前期比14.7%増の2,735億円となりました。海外売上高は前期比21.6%減の423億円となりました。

当部門のセグメント利益は国内での大幅な増収などにより、前期比34.5%増加して267億円となりました。

部門別売上高〈億円〉



売上高・海外売上高比率



セグメント利益・利益率